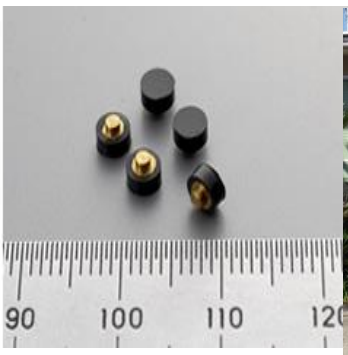
エコアクション21
認証番号0004573

髙石工業株式会社

2023 年度 環境経営レポート

（2023年4月～2024年3月）



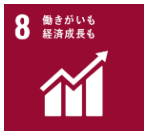
作成日：　　2024年4月1日

□ごあいさつ

弊社は2018年4月に創業70周年を迎えました。これからも持続的成長を目指す弊社にとって、環境的側面を考慮することは必須であると考えます。経営理念の「三方よし」の「世間よし」の考え方に基づき、「人にやさしく、地球にやさしい」企業であるための取り組みを行います。

高石工業株式会社
代表取締役　　高石　秀之

＜環境理念＞



当社はかけがえのない地球環境を次の世代に伝えていくことを重要課題の一つとして認識し、工業用精密ゴム部品製造・研究開発事業活動において「地球にやさしく、人にやさしく」を企業活動の基本として行動します。つきましては、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応により環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境経営方針＞

当社は、工業用精密ゴム製品の開発・設計・製造・販売を通じて、社会に貢献している。当社の事業活動及び製品が及ぼす環境への影響を常に認識し、汚染の予防と環境負荷の低減に努めます。

＜環境保全への行動指針＞

１．次の事項について環境経営目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
・電力（工場、事務所）
・自動車燃料（営業車）

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
・一般廃棄物
・産業廃棄物（廃プラ）

③排水量の削減（水資源の保全）
・一般水道水
・地下水

④製品への環境配慮
・製品への環境配慮（RoHS指令物質の不使用の確認・検査数の確認）
・配合薬品の環境配慮
・工程内で発生する不良の削減
・環境対応製品の販売

⑤化学物質の管理
・PRTR該当物質の管理

⑥地域環境への取り組み
・（地域）貢献事業への積極的参加

２．当社に適用される環境に関する法規則及び同意するその他の要求事項を遵守します。

３．全従業員にこの環境経営方針を周知徹底し、全員参加で実施、維持します。

４．環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年11月11日
改定日：2021年3月4日

代表取締役　　高石　秀之

□登録事業所の概要

（1）事業所名及び代表者名
高石工業株式会社
代表取締役社長　高石　秀之

（2）所在地

本　　社	大阪府茨木市主原町3番18号
鳥取工場	鳥取県鳥取市湖山町東4丁目43番地
山崎工場	兵庫県宍粟郡山崎町段815

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	総務部部長	高石　純二	TEL:072-632-3595
担当者	総務部部長	高石　純二	TEL:072-632-3595

（4）事業内容（認証・登録の範囲）
工業用精密ゴム製品製造

（5）事業の規模

	本社	鳥取工場	山崎工場
従業員(2022年3月31日)	42名	35名	13名
従業員(2024年3月31日)	43名	35名	12名
延べ床面積	1739.17㎡	1314㎡	553㎡

主要製品生産数量(個)

年度	2021年	2022年	2023年
生産数量	53,831,732	50,524,748	－

（6）事業年度　４月～３月

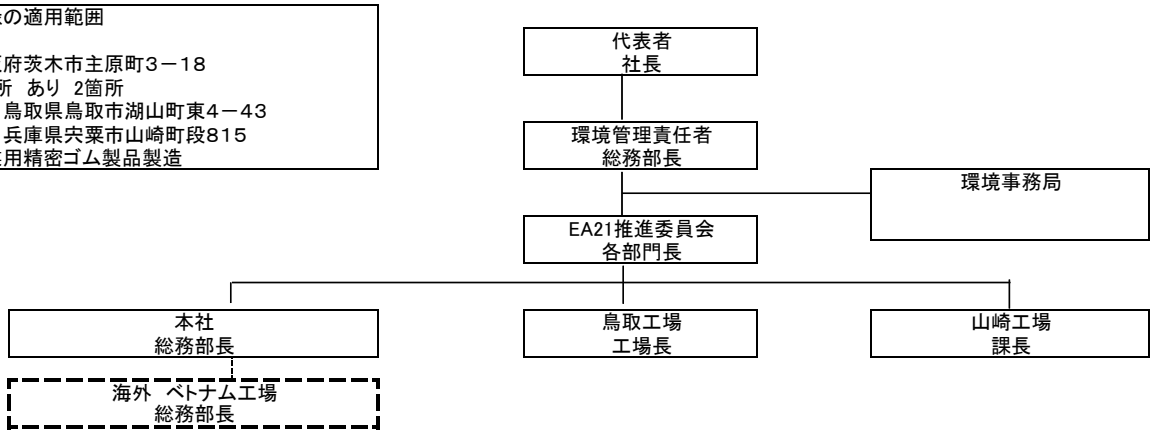
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　高石工業株式会社
本社・大阪工場
鳥取工場
山崎工場

活動：　工業用精密ゴム製品製造

高石工業株式会社　実施体制図及び役割・責任・権限表

認証・登録の適用範囲
住所
本社：大阪府茨木市主原町３－１８
関連事業所　あり　2箇所
鳥取工場：鳥取県鳥取市湖山町東４－４３
山崎工場：兵庫県宍粟市山崎町段８１５
活動：工業用精密ゴム製品製造

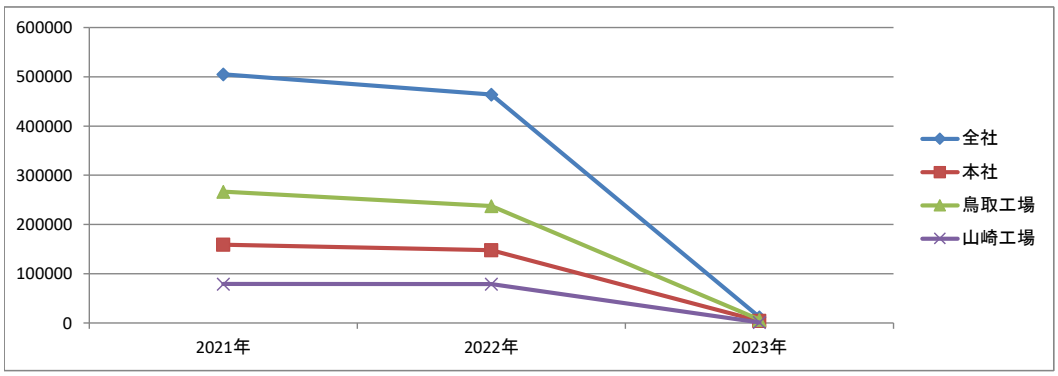


	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境活動責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの確認。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案のの作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□主な環境負荷の実績（CO2 kg）

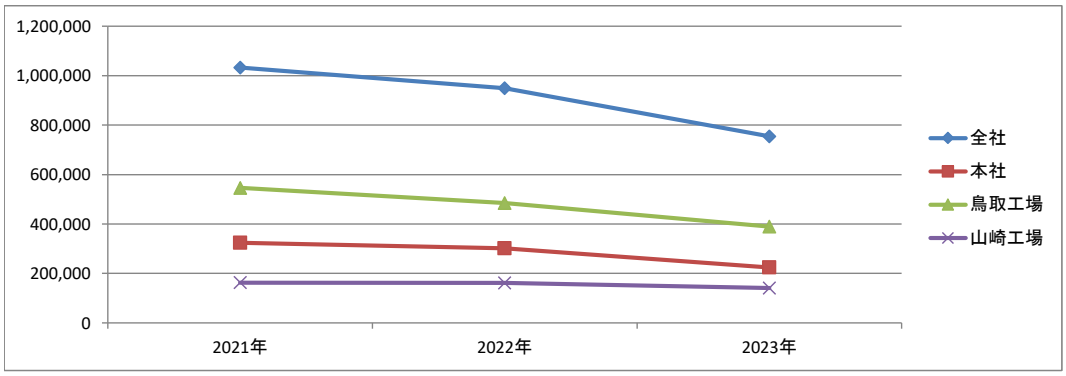
年度	2021年	2022年	2023年
全社	504998	464159	11932
本社	158961	148024	3985
鳥取工場	266750	237328	6863
山崎工場	79287	78807	1084

電力の排出係数は2022年度までは0.479を使用、2023年度はゼロ。



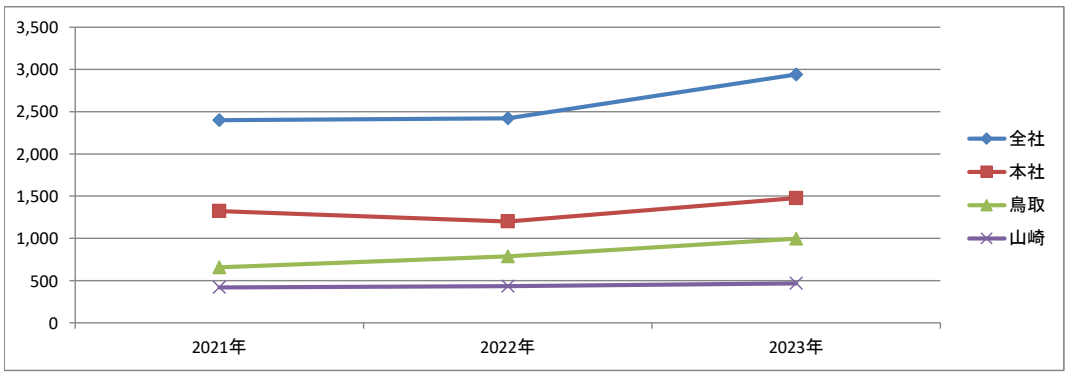
□主な環境負荷の実績（電力　kWh）

	2021年	2022年	2023年
全社	1,032,836	948,889	754,607
本社	324,017	301,929	224,095
鳥取工場	546,260	484,820	389,488
山崎工場	162,559	162,140	141,024



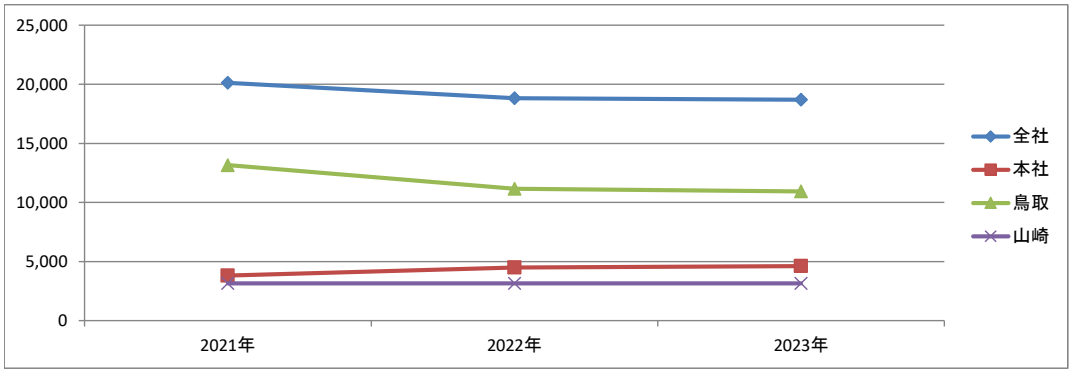
□主な環境負荷の実績（ガソリン　ℓ）

	2021年	2022年	2023年
全社	2,399	2,420	2,940
本社	1,324	1,199	1,477
鳥取	657	787	996
山崎	419	434	467



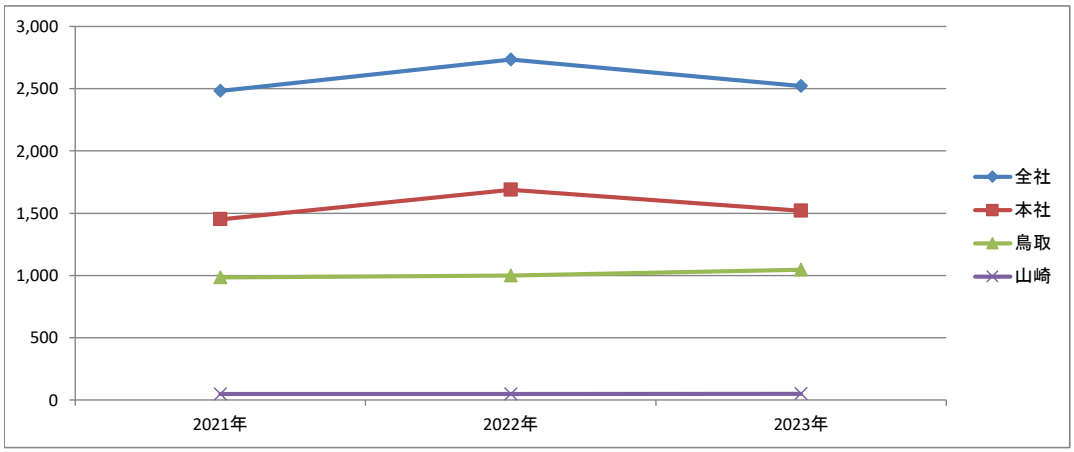
□主な環境負荷の実績（産業廃棄物排出量　kg）

	2021年	2022年	2023年
全社	20,120	18,810	18,690
本社	3,810	4,500	4,610
鳥取	13,160	11,160	10,930
山崎	3,150	3,150	3,150



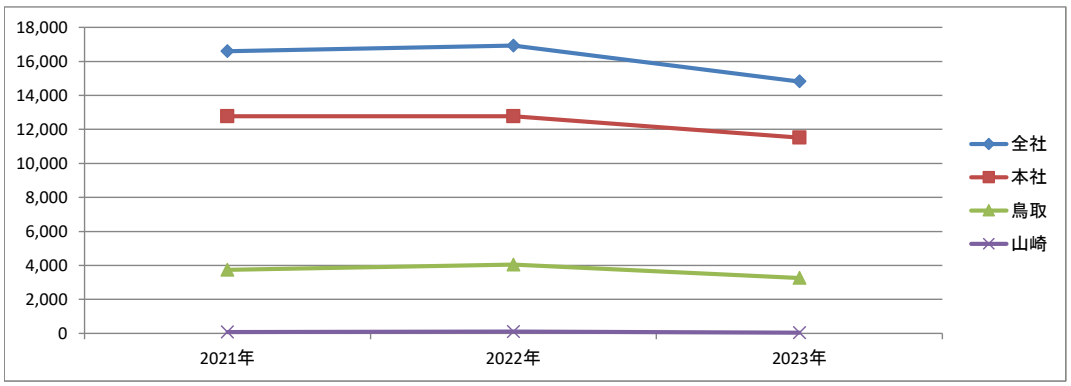
□主な環境負荷の実績（一般廃棄物排出量　kg）

	2021年	2022年	2023年
全社	2,482	2,734	2,521
本社	1,450	1688	1,520
鳥取	984	998	1,046
山崎	48	48	49



□主な環境負荷の実績（総排水量　㎥）

	2021年	2022年	2023年
全社	16,598	16,928	14,812
本社	12,772	12,772	11,513
鳥取	3,744	4,048	3,256
山崎	82	108	42



□環境経営目標及びその実績（全社）

項　目 ＼ 年　度		2021年度	2023年度		2024年度	2025年度
		（基準年度）	（目標）	（実績）	（目標） 基準年度比	（目標） 基準年度比
基準年度との生産量比（個）		53,831,732	-	- -	-	-
電力の削減	kWh	1,032,836	981,194 95%	754,607 73%	981,194 95%	981,194 95%
ガソリンの削減	L	2,399	2,279 95%	2,940 123%	2,279 95%	2,279 95%
産業廃棄物（廃プラ等）の削減	（Kg／年）	20,120	19,114 95%	18,690 93%	19,114 95%	19,114 95%
一般廃棄物の削減	（Kg／年）	2,482	2,358 95%	2,521 102%	2,358 95%	2,358 95%
節水	（㎥／年）	2,011	1,910 95%	1,944 97%	1,910 95%	1,910 95%
製品への環境配慮	ROHS指令物質の検査回数（顧客要請による）	1	1.5 150%	8 800%	2 150%	0 150%
配合薬品の環境配慮		0	- -	3 -	3 -	3 -
工程内で発生する不良の削減	個	275	165 60%	164 60%	261 95%	261 95%
環境対応製品の販売	円	6,079,000	9,118,500 150%	33,881,670 557%	12,158,000 200%	18,237,000 300%

□環境経営目標及びその実績（本社）

項　目 ＼ 年　度		2021年度	2023年度		2024年度	2025年度
		（基準年度）	（目標）	（実績）	（目標）	（目標）
基準年度との生産量比（個）		10,952,617	-	- -	-	-
電力の削減	kWh	324,017	307,816 95%	224,095 69%	307,816 95%	307,816 95%
ガソリンの削減	L	1,324	1,257 95%	1,477 112%	1,257 95%	1,257 95%
産業廃棄物（廃プラ等）の削減	（Kg／年）	3,810	3,620 95%	4,610 121%	3,620 95%	3,620 95%
一般廃棄物の削減	（Kg／年）	1,450	1,378 95%	1,520 105%	1,378 95%	1,378 95%
節水	（㎥／年）	684	650 95%	826 121%	650 95%	650 95%

□環境経営目標及びその実績（鳥取）

項　目 ＼ 年　度		2021年度	2023年度		2024年度	2025年度
		（基準年度）	（目標）	（実績）	（目標） 基準年度比	（目標） 基準年度比
基準年度との生産量比（個）		34,699,860	-	- -	-	-
電力の削減	kWh	546,260	518,947 95%	389,488 71%	518,947 95%	518,947 95%
ガソリンの削減	L	657	624 95%	996 152%	624 95%	624 95%
産業廃棄物（廃プラ等）の削減	（Kg／年）	13,160	12,502 95%	10,930 83%	12,502 95%	12,502 95%
一般廃棄物の削減	（Kg／年）	984	935 95%	1,046 106%	935 95%	935 95%
節水	（㎥／年）	1,263	1,200 95%	1,084 86%	1,200 95%	1,200 95%

□環境経営目標及びその実績(山崎)

項　目 ＼ 年　度		2021年度	2023年度		2024年度	2025年度
		（基準年度）	（目標）	（実績）	（目標）	（目標）
基準年度との生産量比（個）		8,179,255	-	- -	-	-
電力の削減	kWh	162,559	154,431 95%	141,024 87%	154,431 95%	154,431 95%
ガソリンの削減	L	419	398 95%	467 111%	398 95%	398 95%
産業廃棄物（廃プラ等）の削減	（Kg／年）	3,150	2,993 95%	3,150 100%	2,993 95%	2,993 95%
一般廃棄物の削減	（Kg／年）	48	46 95%	49 102%	46 95%	46 95%
節水	（㎥／年）	64	61 95%	34 53%	61 95%	61 95%

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容（全社）

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評　価（結果と今後の方向）
電力の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 （冷房２８℃　暖房２０℃） ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 太陽光発電の設置 しろくま発電への電力会社の切替 工程ロス削減	◎ ○ ○ ○ ◎ ◎ ○	基準年度・目標ともに達成した。 大阪工場・山崎工場に自家消費用の太陽光パネルを新設したので、電力使用量が削減できた。次年度目標は据え置く。 また、全社的にしろくま電力への切り替えでC02排出がゼロになっている。 原単位評価は生産管理システムの切り替わりと落雷によるデータ破損のため今年度は集計ができなかった。
ガソリン使用量の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控え使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	× ○ ○ ○ ○ ○	基準年度・目標ともに達成できなかった。 コロナ禍が終わり、活動量が増えてきたため。
産業廃棄物（廃プラ）の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・適正量でゴムを混練する ・混練の失敗を減らす	× ○ ○	基準年度・目標ともに達成できた。 次年度目標は据え置く。
一般廃棄物の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	× ○ ○ ○	基準年度・目標ともに達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
節水		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・節水の呼びかけ	△ ○	基準年度は達成できたが、目標はわずかに達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
製品への環境配慮		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 RoHS指令物質の不使用の確認 RoHS指令物質の検査回数の確認	◎ ○ ○	基準年度・目標を達成できた。 次年度目標は据え置く。
配合薬品の環境配慮		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 環境に配慮した配合薬品への変更及び環境に配慮した配合の新規開発	◎ ◎	目標を達成できた。 次年度目標は据え置く。
工程内で発生する不良の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 重欠点不良を減らす。 不良率と不良個数が多い作業者には、個別に各現場管理者から指導をする。 重欠点不良は、別のエクセルで監視	◎ ○ ○ ○	基準年度・目標を達成できた。 次年度目標は据え置く。
環境対応製品の販売		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 耐水素用ゴムの量産売り上げ拡大	◎ ◎	基準年度・目標を達成できた。 耐水素用ゴムの販売が海外を中心に増えてきている。 次年度目標は据え置く。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容（本社）

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評　価（結果と今後の方向）
電力の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	◎	基準年度・目標ともに達成した。 自家消費用の太陽光パネルを新設したので、電力使用量が削減できた。 次年度目標は据え置く。
・冷暖房の控えめな使用 （冷房２８℃　暖房２０℃）	○	
・クールビズ・ウォームビズ運動	○	
不要照明の消灯	○	
太陽光発電の設置	◎	
しろくま発電への電力会社の切替	◎	
工程ロス削減	○	
ガソリン使用量の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標がともに達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
エコドライブ運動展開	○	
・アイドリングストップ	○	
・急加速の抑制	○	
・冷房の控えめ使用	○	
・買換え時は燃費マークを優先する	○	
産業廃棄物（廃プラ）の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標を達成できなかった。廃プラの回収タイミングが影響している。 次年度目標は据え置く。
・適正量でゴムを混練する	○	
・混練の失敗を減らす	○	
一般廃棄物の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標ともに達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
・ダンボール等の廃品回収	○	
・シュレッダーごみの再利用	○	
・裏紙の再使用	○	
節水		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標ともに達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
・節水の呼びかけ	○	

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容（鳥取）

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評　価（結果と今後の方向）
電力の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	◎	基準年度・目標は達成した。2024年度は新工場へ太陽光パネルの設置も予定しているのでさらに電力の削減ができる。 次年度目標は据え置く。
・冷暖房の控えめな使用 （冷房２８℃　暖房２０℃）	○	
・クールビズ・ウォームビズ運動	○	
不要照明の消灯	○	
太陽光発電の設置	△	
しろくま発電への電力会社の切替	◎	
工程ロス削減	○	
ガソリン使用量の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標を達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
エコドライブ運動展開	○	
・アイドリングストップ	○	
・急加速の抑制	○	
・冷房の控えめ使用	○	
・買換え時は燃費マークを優先する	○	
産業廃棄物（廃プラ）の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標を達成できた。 次年度目標は据え置く。
・適正量でゴムを混練する	○	
・混練の失敗を減らす	○	
一般廃棄物の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	×	基準年度・目標を達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
・ダンボール等の廃品回収	○	
・シュレッダーごみの再利用	○	
・裏紙の再使用	○	
節水		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標	◎	基準年度・目標を達成できた。 次年度目標は据え置く。
・節水の呼びかけ	○	

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容（山崎）

◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評　価（結果と今後の方向）
電力の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 （冷房２８℃　暖房２０℃） ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 太陽光発電の設置 しろくま発電への電力会社の切替 工程ロス削減	◎ ○ ○ ○ ◎ ◎ ○	基準年度・目標を達成できた。 自家消費用の太陽光パネルの設置があったため。 次年度目標は据え置く。
ガソリン使用量の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	× ○ ○ ○ ○ ○	基準年度・目標を達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
産業廃棄物（廃プラ）の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 裁断重量幅の低めで裁断	△ ○	基準年度は達成。目標は達成できなかった。 次年度目標は据え置く。
一般廃棄物の削減		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	× ○ ○ ○	**基準年度・目標をわずかに達成できなかった。** **次年度目標は据え置く。**
節水		□上方修正　□下方修正　□基準見直し　■変更無し
数値目標 ・節水の呼びかけ	◎ ○	**基準年度・目標を達成できた。** **次年度目標は据え置く。**

□環境関連法規制等の順守状況（全社）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、ロール機
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法（危険物）	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
大気汚染防止法	ロール機
フロン回収・破壊法	業務用空調機
PRTR法	N-ｼｸﾛﾍｷｼﾙ-2-ﾍﾞﾝｿﾞﾁｱｿﾞｰﾙｽﾙﾌｪﾝｱﾐﾄﾞ、ﾃﾄﾗﾒﾁﾙﾁｳﾗﾑｼﾞｽﾙﾌｨﾄﾞ ﾄﾙｴﾝ、ﾌﾀﾙ酸ﾋﾞｽ
下水道法	排水基準の順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません.

□環境関連法規制等の順守状況（本社）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、ロール機
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法（危険物）	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
大気汚染防止法	ロール機
フロン回収・破壊法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
大気汚染防止法の立ち入り検査があり書類の不備が指摘されましたが、すでに手続きは完了しました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません.

□環境関連法規制等の順守状況（鳥取）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法（危険物）	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
フロン回収・破壊法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません.

□環境関連法規制等の順守状況（山崎）

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ｸｽﾞ、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法（危険物）	シンナー
フロン回収・破壊法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません.

□代表者による全体の評価と見直し・指示

●使用電力については削減に努めた。生産量が減ったこともあって全社での基準年度比の削減目標は達成できた。
太陽光パネルを設置するとともに、しろくまパワーの活用で再生可能エネルギー100%となっており、実質的にCO_2排出はゼロとなっている。
中小企業としてのアピールポイントにもなるので、さらに鳥取新工場棟への設置も進め、この活動を続けていきたい。
●自動車燃料については新型コロナウイルスが一段落した影響か、目標を大幅にオーバーしている。
今後もガソリン車の適正な使用に努め、また燃料電池車「MIRAI」を活用して、さらにCO_2排出削減に努めたい。
●産廃ついては目標を達成できているが、生産量が減ったせいか。不良の削減については目標を達成できている。一廃・節水についても引き続き削減に努めたい。
●製品への環境配慮・化学物質の環境配慮については主原料・薬品の変更が前年度に引き続いてあり、その対応を通して目標値をクリアしている。引き続き対応していきたい。
●環境対応製品の販売については耐水素用ゴムの拡販を進めており、目標達成できた。引き続き国内外で対応製品の売上増加に努めたい。
●認証取得以来15年近くこのEA21を維持してきた。会社全体の年度計画にも「水素・環境・海外対応」というテーマを設けている。
SDGsとも親和性の高いマネジメントシステムなので、「環境経営」の視点を取り入れることには意義があると考えている。
「三方よし」の経営理念に加えて「環境よし」の活動を進めることで、一層経営面での「未来よし」につながるようにしたい。

環境経営方針	☑	変更なし	□	変更あり
環境経営目標・計画	☑	変更なし	□	変更あり
実施体制他	☑	変更なし	□	変更あり

□その他の取り組みを紹介

茨木市主催のオープンファクトリーでは、たくさんの市民の方が工場見学にいらっしゃいました。